

2021 年度事業報告書

NPO 法人市民ネットすいた

I 事業期間

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

II 事業の成果

公募により集まった（仮称）市民公益活動拠点施設運営準備会に参加した市民有志が中心となり当法人を設立して 10 年が経過した。

吹田市民自らが、行政・事業者とも協働して「住み続けたい吹田」のまちづくりを推進していくために、吹田市立公益活動センターが担う役割は大きい。そのセンター運営 2 期目を終える本年度は、吹田市民に留まらず行政・他市からも『ラコルタ』の存在が認知され、市民活動、社会貢献、ボランティア活動、自治会活動、地域課題の相談が持ち込まれる場となった。

今年度も 2020 年 2 月からの新型コロナ感染拡大に伴い施設利用の制限、活動や事業中止が続く 1 年となったが、こんな時だからこそ市民がお互いに繋がり、支え合う活気ある社会の実現が望まれる。そのために『ラコルタ』のオンライン化を進め、ハイブリッド講座開催や団体会議運営に活用できるように市内施設では、いち早くその環境整備を整えた。

昨年度からの『北摂 NPO 支援のための緊急補助金プロジェクト』も継続し、コロナ禍で苦境に立つ NPO 団体等を支援するため、北摂の中間支援 5 団体と寄付金を集めこの 2 年間で 22 団体に補助金と伴走の支援を実施できた。

また、採用にはならなかったが新しい施設への指定管理事業展開にもチャレンジすることで、他事業者との連携、申請書類作成などスタッフのスキルを更に磨くことができ、次へのステップに繋げることができた。

III 事業の実施状況

1. 市民公益活動に関する情報提供・広報を支援する事業

(1) Web の運営 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

ホームページで市民公益活動を支援する団体としての基本情報を提供した。Facebook では当法人の各事業等の活動状況をリアルタイムで発信して、両者のリンクで幅広い層に対して情報提供した。

(2) 活動状況のお知らせの発行 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

当法人の活動状況を会員に報告するため、四半期ごとにお知らせを発送した。

2. 市民公益活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促

進める事業

(1) 「復興支援すいた市民会議」の活動への参加(2021年4月～2022年3月)

「復興支援すいた市民会議」は市民活動団体や個人が集り、月1回の定例会を開催していたが、会場となっていたラコルタの夜間休館が続き、会員間のメーリングによってお互いの情報交換、意見交換をおこなった。

10月22、23日の浜屋敷の小さな文化祭や3月6日ヴィレッジマートに出店し、この11年間の活動をまとめたパンフレットも作成して活動の広報にも務めた。

甲状腺検査を希望する2家族には補助金を出し、2ヶ月に1度、大阪弁護士会からの大阪府内での被災者支援情報を市内11軒のお宅に郵送は続けることができた。

(2) 各諸団体・NPO組織との連携(2021年4月～2022年3月)

当法人理事が多くの自治体や団体の審議委員・評議委員として活動した。

- ・吹田市高齢者生活支援体制整備協議会 委員
- ・吹田市立男女共同参画センター運営審議会 委員
- ・南山田市民ギャラリーの第三者モニタリング 委員
- ・令和3年度吹田市情報化推進懇談会 副座長
- ・吹田市文化会館指定管理者候補者 選定委員
- ・吹田市立南山田市民ギャラリー指定管理者候補者 選定委員
- ・吹田市行政評価委員会 委員
- ・令和4年度大阪市西淀川区における新たな地域コミュニティ支援事業 選定委員
- ・大阪市地域公共人材選考会議 委員
- ・令和4年度大阪市福島区における新たな地域コミュニティ支援事業 選定委員
- ・令和4年度大阪市淀川区における新たな地域コミュニティ支援事業 選定委員
- ・NPO法人吹田歴史文化のまちづくり協会 理事及び評議員
- ・NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会 監事

3. 市民公益活動拠点施設を管理運営する事業

(1) 吹田市立市民公益活動センターの管理運営(指定管理者)(2021年4月～2022年3月)

昨年度に続き、感染拡大防止のため利用制限をかけながらの運営となった。しかしオンラインツールを取り入れた事業展開や、吹田市が導入した会議室の予約・照会システムを活用することで、これまで以上に利便性を高めた運営に取り組むことができた。

さらに、2019年に立ち上げた市民参加型のイベント「みんなのSUITA DAY」を2年4か月越しに、ようやく実現させることができた。開催に至っては、これまでの実行委員会形式を改め、オンラインを併用した「誰でも会議」を実施。毎回議事録を公開し、

誰でも参加できる環境をつくりながら、コロナ禍でのイベント開催について議論を深めていった。当初に出展を予定していた市民公益活動団体については、動画で出展いただく環境も整え、これまでとは違った新たな PR 手段を提案することができた。イベント当日は、2 日間の開催を合わせて約 300 人が来場し、市民公益活動との出会いの場を生み出すことができた。

また、今年度は第三期指定管理者の選定が行われるタイミングであったが、8 月に選定委員会が開催され、12 月の市議会にて、当法人が引き続き指定管理者として選定された。

(2) 「栄えるカフェ IN 吹田」の運営 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

JR 吹田駅前のファミリーマート吹田栄通り商店会店 2 階のイートインスペースを、市民公益活動に関わる団体が活用できるようコーディネートを行っている。

このスペースは、団体利用登録をすれば無料で使用できるようにしているが、今年度は、緊急事態宣言で夜間の飲食が制限され、イートインの席数が半減され、利用時間も午後 8 時までとなった。昼間の利用はほとんどできなかったが、コミ亭居酒屋は ZOOM 居酒屋として変身し、毎月末にオンラインでの居酒屋を開催した。

オンラインで距離を縮めたことで、吹田市内に限らず北海道・関東・四国など他市からの参加者もあり、毎回 15 人ほどでコミュニティを持つ事ができている。

特にコロナ禍で外出できない環境の方にとって、多彩な繋がりを持てる場として喜ばれている。

(3) 関西の市民公益活動の中間支援組織との交流 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

・北摂中間支援団体交流会

昨年度から、当法人の呼びかけにより、北摂 5 市（池田市、茨木市、高槻市、豊中市、箕面市）の中間支援組織で『北摂 N P O ・ S B 支援のための緊急補助金プロジェクト』を立ち上げ 2,276,381 円の寄付を集めた。月 1 回定期的にオンライン会議で検討し、3 回に分けて 22 団体に寄付金の贈呈を行い、寄付先団体も交えて、各回ごとに Facebook の LIVE 配信による報告会を行った。北摂の市民公益活動団体への運営資金の提供とともに伴走支援を通して、OJT による各市の支援センターの人材育成に関する交流も行った。

また、この一連の事業をベースに、福祉医療機構 (WAM) の社会福祉振興助成事業 (通常助成事業) に、「北摂地域の活動支援の仕組みづくりと支援団体のネットワーク構築事業」を計画し応募した。

・関西 NPO 支援センターネットワーク (KNN)

今年度は主にメーリングリストを活用してネットワーク内での情報交換に取り組ん

だ。特にコロナ禍における全国的な動きなども含めて ML で情報が共有されたことは有益であった。

4. 市民公益活動の促進のための社会的な環境の整備を行う事業（2021年4月～2022年3月）

（1）市民ファンドの事業化（2021年4月～2022年3月）

「（3）の北摂中間支援団体交流会」で報告した『北摂 NPO・S B 支援のための緊急補助金プロジェクト』により、本格的な市民ファンドを実現し、今年度末で報告書をまとめて事業を一旦終了した。今年度は 8 団体に一律 10 万円を補助し、団体運営の伴走支援を行った。

（2）表彰候補や助成金申請時の推薦（2021年4月～2022年3月）

社会貢献活動に取り組んでいる団体及びプロジェクトに贈られる『大阪商工信金社会貢献賞』に 1 団体を推薦し、採択された。

（3）Code for SUITA（2021年4月～2022年3月）

昨年度に続き、オンラインによる定例会を 8 回開催した。定例会では、事例紹介や情報交換などを行った。

また、11月と3月にはラコルタとの共催事業でシビックテックの入門講座を開催し、参加者を Code for SUITA の活動へ繋げていくことができた。

（4）法人設立 10 周年記念事業

当法人のこれまでの活動や活動趣旨などを当法人の会員を始め、市民や市民公益活動団体等広く社会に知っていただくため、記念誌を発行した。

また、11月にはラコルタとの共催事業で講演会「社会事業家 渋沢栄一のめざしたもの」を開催し、3月には「コミ亭居酒屋特別版」として、オンライン交流会を行った。

IV 社員総会の開催

2021年5月29日（土）、2020年社員総会を開催し、2020年度事業報告（案）と決算（案）、2021年度事業計画（案）と予算（案）について審議した結果、全て可決承認された。出席者は、社員 45 名のうち議決権行使書か委任状提出者を含めて 32 名であった。

V 理事会運営

定例理事会をつぎのとおり開催し、事業の企画・実施体制・結果報告など PDCA サイクルを点検し、確実に事業が実施できる運営を進めた。

2021 年度 理事会

第 1 回理事会	4 月 23 日 (金)
第 2 回理事会	5 月 20 日 (木)
第 3 回理事会	6 月 25 日 (金)
第 4 回理事会	7 月 30 日 (金)
第 5 回理事会	8 月 27 日 (金)
第 6 回理事会	9 月 24 日 (金)
第 7 回理事会	10 月 22 日 (金)
第 8 回理事会	11 月 26 日 (金)
第 9 回理事会	12 月 24 日 (金)
第 10 回理事会	1 月 21 日 (金)
第 11 回理事会	2 月 25 日 (金)
第 12 回理事会	3 月 25 日 (金)